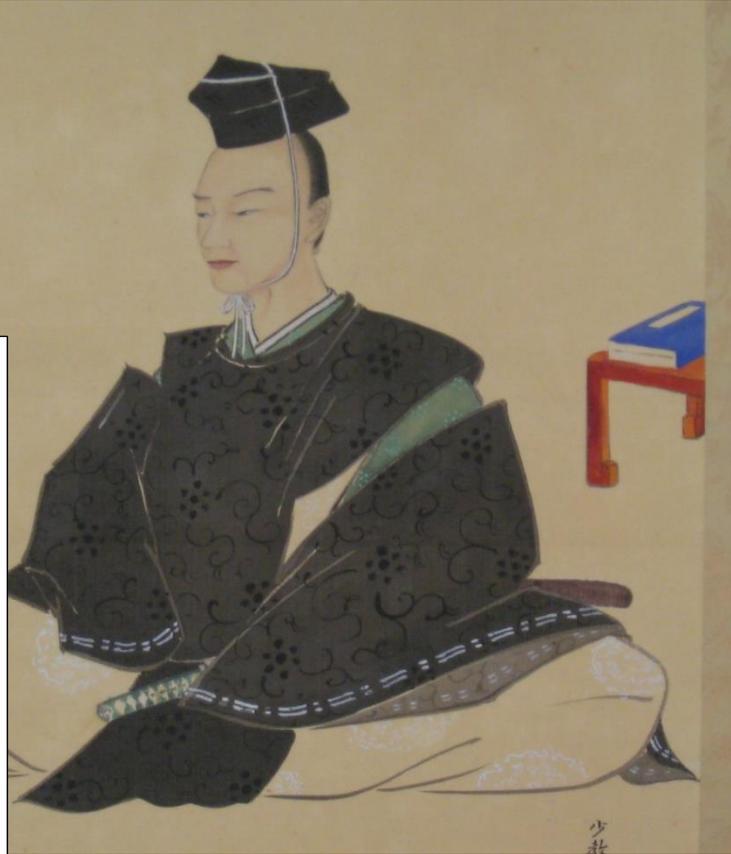


2019年は田沼意次侯生誕300年

今こそ田沼再興のとき

「田沼再興戦略」本格始動



田沼意次侯肖像画 (牧之原市史料館所蔵)

田沼再興宣言

私たちは、「田沼意次侯生誕300年」を迎える2019年に向け、優れた先見の明と創造力、政治的手腕のあった田沼意次侯の功績を再評価するとともに、ゆかりの地に住む市民の誇りの醸成と産業および観光の活性化につなげていくことをここに宣言します。

平成30年6月5日

田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会

- 委員長 夢'S Come さがら代表 河野研司
- 副委員長 牧之原市 副市長 横山裕之
- 監事 牧之原市商工会 会長 本村茂郎
- 委員 牧之原市自治会地区長会 会長 種茂和明
- 牧之原市自治会地区長会 副会長 赤塚康彦
- 牧之原市観光協会 会長 西谷俊彦
- 牧之原市文化財保護審議会 会長 横山真一
- 牧之原市女性団体連絡協議会 会長 今野菊子
- 田沼塾・はりはら塾 代表 原本信子

私たちは、「田沼意次侯生誕300年」を迎える2019年に向け、優れた先見の明と創造力、政治的手腕のあった田沼意次侯の功績を再評価するとともに、ゆかりの地に住む市民の誇りの醸成と産業および観光の活性化につなげていくことをここに宣言します。

2019年度は、意次侯に関連する各種記念事業を実施していきます。生誕300年を契機に市をあげて盛り上げていきましょう！

2019年度は、江戸幕府の老中を務め、遠州相良藩主として現在の牧之原市周辺を治めた郷土の偉人「田沼意次侯」の生誕300年です。牧之原市では、この生誕300年を契機に、意次侯の功績を顕彰するとともに、ゆかりの地に住む市民の誇りの醸成や地域の活性化など、意次侯を活かした魅力あるまちづくりに取り組んでいくこととしました。

平成30年6月5日には、市内の各種団体を構成員として実行委員会を設立し、この取組を「田沼再興戦略」として推進していくことを確認しました。そして、市民の共通理念として「田沼再興宣言」を採択しました。

2019年度 各種記念事業を展開

2019年度は、「田沼再興戦略」に掲げる5つのまちづくりプロジェクト(①景観プロジェクト、②功績の顕彰プロジェクト、③情報発信プロジェクト、④産業活性プロジェクト、⑤観光交流プロジェクト)に基づき、各種記念事業を展開していきます。

主な記念事業としては、11月17日(日)の相良小学校グラウンドを会場とした記念大祭のほか、顕彰式典などを開催する予定です。イベント等については、この「意次通信」や「意次ドットコム」サイトで御案内していきます。

田沼意次情報は
こちらから!



意次ドットコム

<意次の功績>

幕府財政の再建	① 殖産産業：鉱山開発、蝦夷地開拓、朝鮮人参・白砂糖の国産化
	② 新しい税制度の導入：運上、冥加金（商人の営業税）
牧之原市の基礎を確立	③ 能力主義による人材の登用
	④ 貨幣の実質的な統一：明和五匁銀、南鐮二朱銀、四文銭の発行
	① 相良城の築城 築城年：安永9年（1780年）※明和5年（1768年）着工 広さ：東西500m×450m 約7万坪 主な建物：本丸御殿、三重櫓、太鼓櫓（二の丸）、侍屋敷（三の丸） →天明8年（1788年）、わずか8年で廃城
	② 領内の整備 城下町の建設・・・町割り（街路、区画整理）の実施 町家の葺き替え・・・板または瓦屋根の採用（防火・景観対策） 寺社の保護・・・大江八幡宮や平田寺など
	③ 殖産興業とインフラ整備 養蚕、商品作物の栽培、製塩などの奨励 湊橋の架橋（萩間川初の常設橋）・・・田沼街道の成立

意次の改革 数々の功績

「田沼意次」の名を聞くと、賄賂のイメージが付きます。しかし、悪化していた幕府財政を立て直すべく、それまでの農業主義から商業を重んじる政策へ転換を図り、株仲間の奨励や外国との貿易拡大、さらには商業の発展に力を入れ、見事、財政復活を果たした立役者なのです。

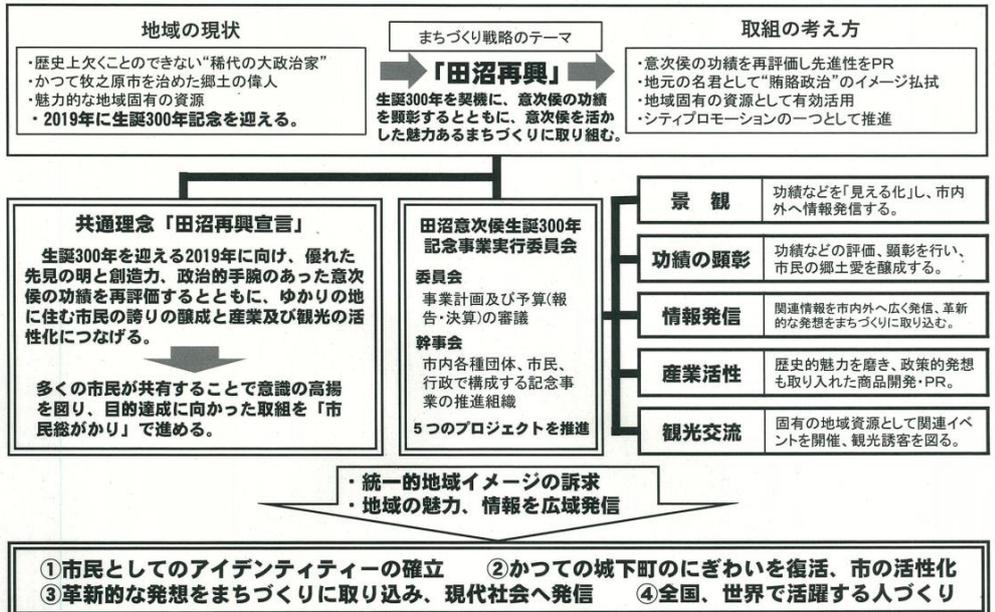
相良藩においても、街道や港のインフラ整備、製塩、養蚕をはじめとする殖産産業政策を行い、年貢を増やすことなく政治を安定させた名君でした。

まちづくり戦略

意次の生誕300年を契機に、功績を顕彰するとともに、意次侯を活かした魅力あるまちづくりに取り組む戦略を「田沼再興戦略」と名付け、2019年度から記念事業の実施にあわせて本格的にスタートします。

功績の再評価、「賄賂政治家」としてのイメージ払拭、地域固有の資源として有効活用、シティプロモーションの一つとして推進することが取組の基本的な考え方です。市民一丸となって進めていきたいと思います。

<田沼再興戦略>



浄心寺での様子



大澤寺での様子

小学生の校外学習

郷土の偉人「田沼意次侯」を学ぶ校外学習が、相良小学校からスタートしました。今後、市内の小中学校にも広めていきたいと考えています。

相良港の壁画修復

色褪せた相良港防潮堤の壁画を相良高校美術部の生徒と市民有志で修復しています。年度内の完成予定です。



壁画の修復作業に取り組む生徒

平成30年度の主な取組

ぶらり田沼の旅

意次侯ゆかりの地を学芸員の解説付きで巡りました。今年も5月、6月に開催予定です。

没後230年法要

市議、区長、市幹部等が出席し、記念講演も行い、意次侯の遺徳を偲びました。



平田寺で読経する竹中住職